

工学科の授業には、他の学科にはない「専門」の時間がある。今回は初めて測量実習を体験した生徒の授業レポートを紹介する。

授業レポート「測量実習」

2年 台場 晴仁（立神中出身）

先日、測量実習の授業で測量をしました。私たちが日々使用している道路なども測量を行っている施工に移るといって土木の基礎となる作業です。実習をする前は簡単な作業だろうと思っていました。



しかし、いざやってみると細かい作業が多く、距離などを測る前の「据え付け」という作業にとっても苦戦しました。測量の機械は精密機器で、一台で驚くような金額がするものです。それを扱うということもあり、とても緊張し、おそろおそろ作業をしていました。

回数を重ねるうちにコツをつかんでいき徐々にできるようになっていきました。やってみると難しかったのですが、とても楽しいと感じました。2年生になり、いろいろな実習も増えてきました。将来のためにも一つ一つ考えながら真剣に楽しんで実習していきたいと思えます。

れいめい

REIMEIJIN

2023/NO. 3

つくるのは、ジブン。



EVENT

令和6年度入学試験
1/22(日)

合格発表
1/29(日)

SNS



公式HP



facebook



Instagram

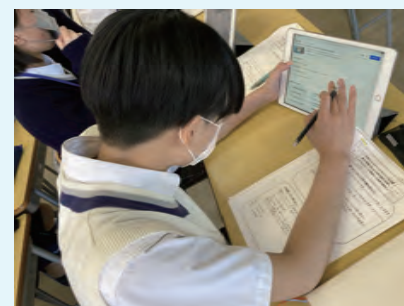


HIGHSCHOOL_REIMEI



キャリアアップコース通信

キャリアアップコースの二期は「マイナビキャリア甲子園」に挑戦しよう！ということになり、一年生、三年生が取り組んでいます。毎年準決勝大会進出を決めています。今回はその様子をお伝えします！



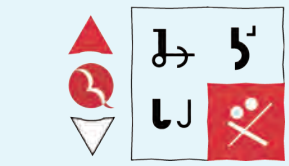
「マイナビキャリア甲子園って何ですか？」
株式会社マイナビが運営する高校生向けのビッグプロジェクトで、高校生がチームを組んで企業からのテーマに挑戦するビジネスアイデアコンテストです。今年には、「住友林業」や「サマンサタバサ」、「ミツカン」や「セコム」など12の企業がテーマを出してくれました。

「三年生は三度目の挑戦ですが、これまでの参加を振り返っての感想と今年の意気込みを教えてください。」
これまで知らなかった企業が課題を出題するテーマや出題したことのない分野にまつわる課題に挑戦することで、自分の可能性が広がってきたと思います。企業からの評価やプレゼンテーションの場があるので、様々な視点から論理的に考え、相手に伝える力を磨くことができるようになってきました。今年も出されたテーマを「自分ゴト」として捉え、社会課題を解決するアイデアを出していきたいです！

「初めて参加する一年生は、マイナビキャリア甲子園に対してどう感じていますか？」

企業テーマを見たときに、「世代を超えた健やかな美しさ」「木」をより身近に感じる機会の創出」「サステナブルな循環型社会」「日本における食の変化を予測」などの言葉が並び「難しい…」が第一印象でした。しかし、チームメイトと一つのテーマを徹底的に考え抜き、新しいアイデアを出したり、社会問題の解決策を考えたりするのが少しずつ面白くなってきています。

今年のキャリアアップコースの生徒たちの挑戦も随時SNSで発信していきますので、ぜひ応援してください！



=みらい図=
普通科みらい探究コース通信

かましと
とらぶーナツ
2023/07~

みらい探究コースでは、「スイーツプロジェクト」と題し、有志を募って商品開発に取り組んできた。企業と共同開発し、販売した経験についてプロジェクトリーダーをつとめた鶴原百花さんと鎌田怜奈さんに話を聞いた。



鎌田 怜奈さん(川内南中出身) 鶴原 百花さん(東郷学園出身)

「スイーツプロジェクト」について教えてください。
百花) プロジェクトはみらい探究コースの有志を募ってスタートしました。二班にわかれて、それぞれどんなコンセプトで何を作るかなど話し合っていました。私達の班はみんなに愛されるものをコンセプトにカヌレを開発しました。協力していただいたのは「名もなき小さなケーキ店」さんです。
怜奈) 私達は、アスリートでも罪悪感なく食べられるお菓子を考えました。「大豆の華」さんに協力していただいて、どうぶどーナツを開発しました。

「文化祭で販売した感想をお願いします。」
百花) おかげさまで両チームとも完売しました。一つの商品を作るのに、いろいろな苦労があることが分かって、ちょうどだけ社会人の一員になれた気がします。
怜奈) 販売してみて改善も見つかりました。回転率が悪くて、渋滞ができてしまいました。イベント販売などでは規模が大きくなるので、良く話し合っ対策していきます。



▲れいめい祭での準備の様子



▲日置市で行われたフェス「オリバニアン」にも出店

最後に商品の紹介をお願いします。
百花) 「カヌレ」は、チョコ・抹茶・キャラメルの三種類を用意しました。チョコは人気ナンバーワン。抹茶は甘いのが苦手な人にもおススメです。開発チームの一押しはキャラメルです！生クリームにキャラメルソースをトッピングしてナツをちりばめています。
怜奈) 「どうぶどーナツ」は、プレーン・いちご・抹茶・黒糖きなこ・チョコチップの四種類を販売していました。文化祭の後に改良を加えました。チョコチップ味のドーナツにコアパウダーを加えて、より色の違いをつけたことで、目にも楽しいカラフルなラインナップになりました。四つ並べてご賞味ください。

文通

あなたと文理科をつなぐ
れいめい文理科通信
合格体験記 21
自分のペース



熊本大学 文学部文学科
西野 真央さん(宮之城出身)

熊本大学文学部に合格した西野さんは、焦らず自分のペースで受験に臨んだ。そんな彼女に合格の秘訣を聞いた。

「大学生活はどうですか？」
実家を出ましたけど、特に問題ないと感じています。今は姉と二人暮らしなのですが、掃除や洗濯、料理などは分担してできるので時間的余裕ができます。友達もできて、適度な関係でつきあえているので、個人的には居心地が良いです。
「サークルには入りましたか？」
ピアノサークルに入りました。月に二回だけで、弾いてもいいし、演奏を聴くだけでもいいんです。



▲大学で使用している教科書



▲熊本大学構内の様子

ワレワレもれいめい人

—れいめい教職員コラム—

教職員達が、毎号交替で書いていくリレーコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々である。



文理科
深谷 泰博 (福岡県小竹中出身)
教科: 数学
好物: ホホワイト餃子
特技: 物忘れ

『老いらくの聖夜』
今年も残すところ2カ月余りとなり、あっという間に2023年も終わるのかもしれない。私は、次の2月で59歳となり、年齢は無慈悲にも増えていく。
先日、帰宅中に車窓からクリスマスのイルミネーションを見つけて、もうそんな季節かと感じた。12月の待降節、25日はクリスマスというお祝いなのだ。イエス・キリストの誕生をお祝いするのである。世間では、この意味合いとは無関係に楽しんでいる人が多い気がするが、それはそれで良いのである。
しかし、ふと考えてみると、なぜ、神様であるキリストは12月25日の真夜中(正確に言えば、24日の夜中から日付が変わった25日の未明)に、極寒の中、馬小屋で誕生したのだろう。聖母マリアは、さぞや大変な思いをしたことであろう。クリスマスはむしろ、聖母マリアを称えるお祝いであるべきなのだろう。というか、神様がなぜ人間から産まれたのか???などと、手前勝手に考えながらも、今年もクリスマスを楽しもう。
そして、次の自分の誕生日で歳を重ねながら老いを楽しみたいと思う。

れいめい高校令和6年度入学試験は1/22(月)!

詳細は募集要項をご覧ください。